



姫路科学館友の会
Since 1993

あとむ

姫路科学館友の会会報 第200号〈2026年1月〉(友の会事務局発行)



新しい年を迎え、皆さんに心よりお祝い申し上げます。
昨年は、友の会の活動にご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も「学び」を大切に、より充実した活動を皆さんと共に築いてまいりたいと存じます。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

友の会 お知らせ

☆姫路科学館友の会・会員数 ⇒ 244人 (2025年12月末時点)

2026年度の姫路科学館友の会・会員募集が3月より始まります。引き続き、会員の申し込み手続きをよろしくお願ひいたします。※申込書は2月発送予定

姫路科学館友の会ボランティア募集中



友の会では、友の会企画の活動補助や会報発送作業等のボランティアを募集しています。

興味のある方は、友の会事務局までお問い合わせください。

姫路科学館 HP

【友の会事務局】 TEL: 079-267-3960 Email: himeji_kagakukan_tomonokai@outlook.jp

馆長の科学館だより 姫路科学館近況 令和8年1月

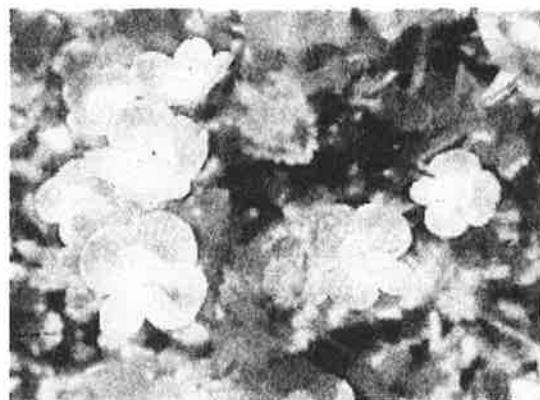
明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。昨年は流行語大賞候補に二季が選ばれるように暑さが定着した日本になりました。今年の干支は丙午です。まっすぐ前へ進む力強さで、会員の皆様や科学館スタッフが実を結ぶ一年になりますように願います。科学館一階の特別展示室で、恒例の「姫路科学館カガク初め展」を開催しています。「午」にまつわる、生物・地球・理工・天文分野のカガクが集まり、標本・模型・写真なども紹介します。

今後もより親しまれ愛される科学館に育てて参りますのでよろしくお願ひいたします。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

花の歳時記 オオイヌノフグリ (オオバコ科)

明治初年に日本に渡ってきたヨーロッパ原産の越年性帰化植物です。日当たりのよい路傍や畑のあぜ道などに自生しています。早春に青紫色の花を咲かせますが、積雪がほとんどない暖かい地方では、1月下旬には、ちらほらと花を咲かせているのが見られます。果実が犬の陰嚢(ふぐり)に似ているところから名がついた日本産のイヌノフグリ(希少種)より花形大きいところから、この名がつきました。太陽が照っているときだけ花が開き、ハチ、ハナアブ、チョウなどを誘い受粉する虫媒花ですが、夕方になり花を閉じても受粉できる自家受粉の仕組みも持っています。



(友の会副会長 古角孝之)